

昭和の地名をたずねて③

森下

大森神社の下に開かれた集落か

利根郡昭和村森下は、川額の北、赤城山北西麓に位置し、北西境に片品川が流れる。

地元、大森神社の鎮座は延喜十三年(九一三)と由緒に記されており、今からおよそ1,110年前で大変な歴史がある。

上野国神名帳には征三位大社明神とあり、祭日は九月の丑の日に行われてきた。境内面積はおよそ二反三畝あり、槻、杉、桜などの樹木が生い茂り大森と呼ばれ、この大森の下にできた集落なので、森下という名称が生まれたと一説に言われている。

「上野国郡村誌」によると、この利根沼田は県土の約27%を占めており、古来が一番早くひらかれた所が森下で、利根沼田の関門であったことから、郡役所である郡衙や、国分寺分院がこの森下にあったのではないかと推定されている。

その証として、数多くの古墳群をはじめ、その近辺には御門、君ヶ原、王御堂、宮原、御室といった皇室と関係があるような地名が残っている。「倭名類聚抄」に

ある笠科郷も、森下ではないかと考えられている。

中世のころ「沼田根元記」に「和田四郎、上洛して、平清盛より利根勢多郡を拝領した」とあり、この時に、沼須村から舟の渡しを作り、川額、森下、椽久保、糸井、貝野瀬の村続きの五カ村ができたのである。

戦国時代には森下城が沼田城の要害の城であり、人馬の往来が盛んな交通の要所として重要性を増していった。こうして赤城山西麓が沼田街道として知られるようになった。江戸時代になると、沼田藩主の参勤交代路として整備され、森下宿制によれば、上中、下の三宿が協同で市を開催し、夏季には夜店などを出していた。その様子から、森下街と記されているのもうなすける。

商いをおこなっていた大半が半農半商といった具合で屋号を持ち、店舗を構えていた。現在も、当時の屋号で呼ばれる家などがあり、その面影が偲ばれる。

現在では、森下原の畑作地帯に高速道路が走り、昭和インターや道の駅、企業団地が進出し、活気ある賑わいを呈している。

昭和村ボランティアガイドの会

会長 倉澤 俊雄



地域包括支援センターだより

熱中症にご注意ください!!

熱中症により救急搬送される人が夏本番を迎える7月に最も多くなりますが、体が暑さに慣れていない5・6月も多くの方が搬送されており十分な注意が必要です。

熱中症を予防するために

- ・こまめな水分補給
- ・適切な室温管理
- ・暑さを避ける

などの基本的な対策をとること。

また、

本格的に暑くなる前に、暑さに強い体づくりをはじめましょう

熱中症を発症しやすいのは、体調が悪い方、高血圧・心臓病などの持病が悪化した方です。

健康管理・体調管理そのものが熱中症の予防につながります。

室温をうまく調整しよう



こまめに水分を補給しよう



日陰で休もう



今から始めたい暑さに強い体づくり

①汗をかく体をつくる

汗ばむ程度の運動やウォーキングなどを継続し、汗をかく練習をしましょう。

②脱水状態にならない体をつくる

体の水分の4割は筋肉などの細胞にためられています。筋肉がつくことで体に多くの水分がためられ脱水状態になりにくくなります。運動するのが苦手な方は、意識的に水分補給をするくせをつけましょう。

③健康管理をしっかりする

- ・十分な睡眠をとる。
- ・バランスの良い食事をとる。
- ・アルコールを飲みすぎない。この3点に気を付けて健康管理をおこなってください。



問合せ 地域包括支援センター ☎20-1126

